



提供：生活協同組合・消費者住宅センター

### 東京の木・いえづくり協議会

都民や住宅の建築に携わる方々（林業家・製材所・設計事務所、工務店など）へ、シンポジウムや展示会などを行い、東京の木を使った家づくりの普及をめざしています。家づくりの相談相手の案内を行っています。

<東京の木・いえづくり協議会事務局・問い合わせ先>  
東京都住宅局民間住宅部民間計画課内  
TEL：03-5320-5006

### 公共事業での優先利用

東京都は、地域の活性化や環境への配慮から、公共施設などに東京の木を率先して使う取組みを進めています。



木づかい運動～公共事業での木づかい～  
木を使った施設は、見た目にも優しい

森の恩恵を受けている都市部でも、東京の木を使った施設の整備を行う取組みが始まっています。



武蔵野市の小学校内のピオトープ  
木道として東京の木を利用している

## 東京の木を使ってもらうために

東京都では、都民のみなさんに、東京の森・林業についてよく知ってもらい、木を使ってもらうために、さまざまな取組みをしていきます。取組みの内容を現在、「森づくり推進プラン」にまとめているところです。

「森づくり推進プラン中間のまとめ」の全文が、産業労働局のホームページに掲載されています。是非ご覧ください。

産業労働局ホームページURL：  
<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/>

<森づくり推進プラン・問い合わせ先>  
東京都産業労働局農林水産部林務課  
TEL：03-5320-4860



東京の木を使った材木 提供：秋川木材協同組合

## 「もっと知ってね 農業のこと。」

### 学童農園から

4

### 豊島区立仰高小学校

仰高小学校では、本格的な稲作体験により、私たちが毎日当たり前食べている「米」について改めて見直すとともに、日本の農業の大切さについて学んでいます。

授業では5年生が、社会科で米づくりを中心に日本の農業について、理科で植物の発芽や成長について学んでいますが、平成14年度から「東京都農業体験モデル校」に選定されたことを受け、稲作体験学習を採り入れました。

日頃の活動は、学校の屋上に設置された「仰高田んぼ」での作業です。これは、近くにある東京都中央卸売市場豊島市場からいただいた発砲スチロール製の箱の中に「荒木土土」を入れた手作りの田んぼです。田植え、水管理、

収穫など一連の基本作業から、スズメよけのための工夫を凝らした案山子づくりや、キラキラ光るメタリックテープ張りまで、5年生全員が力をあわせて行いました。取組みの様子は他学年にも伝わり、発砲スチロール箱の収集や農業に関する学習も積極的に行われています。「屋上緑化」として、校舎内の室温の変化を観察するなど都市



環境に関心をもつ子どもが増えたことは新たな成果です。

また、茨城県那珂町の農家にご協力いただき、実物版の「仰高田んぼ」で、年数回の本格的な稲作体験も行いました。農家の指導の下、田植え、稲刈りを体験し、学校で脱穀、もみすり、精米などすべてを手作業で体験しました。

昨年の稲作は、夏季の低温により影響の出た地域もありましたが、「仰高田んぼ」は、子どもたちや農家の方々の熱意が伝わったのか、見事な出来栄となりました。子どもたちからは、「稲刈りは大変だった」、「カマを使うのが怖かった」、「おいしいお米が出来てよかった」、「手作業で行っていた昔の農家は苦労したんだなあ」、「機械化された今の農作業に驚いてしまった」などの声が聞かれました。

2ヶ所の「仰高田んぼ」でとれたお米は、寿司職人を招いた「巻きずしづくり」（収穫祭）で活用され、味もおいしく大盛況でした。

これからも、教育の中に農業体験学習を積極的に採り入れていきたいと考えています。

